

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称 施策1-2-1 売れる農林水産品・加工品づくり

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長

農産園芸課長 森上 浩平

電話番号

0852-22-5123

事務事業の名称	島根の「売れる米づくり」推進事業	
目的	(1) 対象	農業協同組合等
	(2) 意図	島根米の食味・品質のレベルアップを図り契約的取引を推進
事業概要	JAしまね農業振興重点施策に基づき、カンントリーエレベーター（CE）やライスセンター（RC）等へ、食味計や1.9mm選別網目を導入する、島根米販売強化のための体制整備を支援する。	

2. 成果参考指標

(1) 指標名	式・定義	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
		1. 9mm選別網目導入地区本部割合	目標値		0.00	0.00	0.00	0.00
	1. 9mm選別網目導入地区本部数/全地区本部数（11）	実績値	0.00	0.00	0.00	0.00		
		達成率		0.00	0.00			%
指標名	式・定義	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
		1. 9mm選別網目導入地区本部割合	目標値		0.00	0.00		
		実績値	0.00	0.00	0.00			
		達成率		0.00	0.00			%

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	0	7,000
うち一般財源(千円)	0	7,000

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	⑤H27新規
---------------------	--------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

統計データに基づく、1.9mm以上の選別網目導入割合は、H24年実績で全国33.7%に対し島根県9.7%（既導入JAしまね地区本部：雲南地区本部、H26年隠岐地区本部）。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

H27年から、「石見銀山地区本部」「島根おおち地区本部」をモデル地区に位置づけ、1.9mm選別網目及び食味計の導入を先行実施。
 ・石見銀山地区本部：大田RC・温泉津RC・エコロシー米生産組合
 ・島根おおち地区本部：桜江RC・川本RC・大和RC・ハーブ米生産部会

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

・できるだけ速やかに（H29年までに）全県へ波及させること

②困っている状況が発生している「原因」

・1.9mm選別網目・食味計導入による具体的な効果説明が不十分（歩留まり＝ロス率、外観・食味等の評価向上）

③原因を解消するための「課題」

・大粒化に向けた栽培技術指導の徹底による歩留まり向上
 ・1.9mm選別や食味計（タンパク含量）を活用したトップ商品づくり
 ・JAしまねによる買取（差別化・付加価値化）販売

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

平成27年産米において、モデル地区「石見銀山地区本部」「島根おおち地区本部」における効果検証を実施し、他地区本部への周知及び導入推進に取り組む。

◎課（室）内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）